

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（総括表）

（文化・観光部）

事業番号	事業名 (担当課・事業費)	結果	県民評価者 判定内訳(人)			
			県の関与不要			
17	バス運行対策費助成 (交通政策課) (290,800千円)	県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与不要	5		
			県の関与必要	見直し・縮小	15	
				現行・拡充	9	
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由				
		<ul style="list-style-type: none"> ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・民間委託を進めるべき ・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき 				
		具体的な見直し・改善策又はその他意見				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と事業者と行政が協力していく必要がある。行政は補助金だけでなく赤字路線を公表し、地域住民に利用してもらうよう努めたらどうか。 ・乗り合いタクシーやバスの小型化等を積極的に導入すべき。 ・バス事業者の申し出だけでなく、地域住民を巻き込んで、地域の利用状況にあわせ運行計画をしっかりと作成した方が良い。 ・バス利用者にポイントをつける、自社バスを運行するなど、スーパーや量販店と連携し、バスの利用者を増やすことを考えてほしい。 ・赤字路線の場合には、バス会社の努力(車種を小さくする、運行時刻の変更など)が見られない限りは期限を設けるべき。 						

事業番号	事業名 (担当課・事業費)	結果	県民評価者 判定内訳(人)			
			県の関与不要			
30	就職支援キャリア カウンセラー配置 事業費助成 (私学振興課) (5,400千円)	県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与不要	11		
			県の関与必要	見直し・縮小	13	
				現行・拡充	4	
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由				
		<ul style="list-style-type: none"> ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・事業の終期(期限)を設定すべき ・サービス受給者の自己負担について見直すべき 				
		具体的な見直し・改善策又はその他意見				
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング指導を、県が介入しないとできないのか疑問。学校でやることだと思いが、どうしても就職率が悪い学校に一時的に指導するくらいで良いのでは。 ・私立にとって就職率も一つの売りになるはずなので、自前でカウンセリングできるようにする又は依頼するなどしてほしい。 ・就職できなければ、保険も年金も支払えない。就職に結びつけられたことには成果はあったと思うが、学校側の努力も必要。 ・景気が低迷しているので、すぐに県の支援を中止するのは難しいと思うが、終期を設けて私学に対応を促す努力が必要。 ・私立高校へのアドバイスを実施して補助金は終了させるべき。 						

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（総括表）

（文化・観光部）

事業番号	事業名 (担当課・事業費)	結果	県民評価者 判定内訳(人)				
28	ふじのくに観光ブランド創出事業費 (観光政策課・観光振興課) (85,900 千円)	県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与不要	3			
			県の関与必要	見直し・縮小	23		
				現 行・拡充	2		
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由					
		<ul style="list-style-type: none"> ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき ・民間委託を進めるべき 					
具体的な見直し・改善策又はその他意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・市町連携のために県事業が必要だと思うが、県は方向付けや市町の調整に注力すべき。JR や航空会社との連携も必要。 ・県主体でなく、市町広域中心で行うほうが良い。関与不要とまではいわないが、前面に出るのでなく後方支援中心で良い。 ・必要な事業だと思うが、県の役割、業務が不明確。負担金の支出としては大きすぎる。 ・キャンペーンより観光関係のホームページを充実させた方が効果は大きいのでは。 ・観光はリピーターがあることで安定。リピーターを増やすことについてはノウハウが必要と思われるので、民間(プロ)に委託した方が良い。 							

事業番号	事業名 (担当課・事業費)	結果	県民評価者 判定内訳(人)				
29	おもてなし推進事業費 (観光政策課・観光振興課) (110,900 千円)	県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与不要	5			
			県の関与必要	見直し・縮小	22		
				現 行・拡充	1		
		結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由					
		<ul style="list-style-type: none"> ・効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき ・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき ・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき 					
具体的な見直し・改善策又はその他意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・県でやるべき事業を再度棚卸すべき。観光案内所も営業時間や人員の見直しが必要。パンフレットも民間のものを研究、または民間と協働して作成するなどの見直しが必要。 ・観光情報の発信に県が大きな予算を組む必要があるのか疑問。静岡に対して既に持っているイメージで十分旅行に行く決め手になると思うし、情報もガイドブックやインターネットの口コミ等で十分に得ることができる。 ・事業番号 28、29 を一緒にして県、協会等との役割分担、事業内容の見直しを。 ・各市町村の観光協会にまかせる部分が多くある。県はバックアップする程度で良くないか。 ・効果的な予算活用をお願いしたい。負担金の支出項目が多いため、見直し又は支出した負担金についての検証を。 							